

令和4年度「第1回 レーザ技術活用セミナー」

福岡県工業技術センター、福岡県工業技術センタークラブ機械電子技術部会、
日本熱処理技術協会九州支部（共催）

福岡県工業技術センターは、令和3年10月、溶接・肉盛・熱処理用の「レーザ加工システム」及び「ファイバーレーザ溶接機」を整備しました。県内企業の皆様にご活用頂くため、技術活用セミナーを開催します。また装置見学会、技術相談会も開催します。奮ってご参加ください。

- ◆ 日時 令和4年7月6日（水） 10:00～17:00（受付：9:30～）
※オンライン参加：10:00～15:10（オンラインは講演のみ）
- ◆ 場所 福岡県工業技術センター機械電子研究所（北九州市八幡西区則松3-6-1）
- ◆ 定員 会場：40名（オンライン：100名）【参加費：無料】
- ◆ 申込〆切 6月30日（木）※先着順。定員になり次第、受付を終了いたします。

■ プログラム

主催者挨拶 10:00～10:05 福岡県工業技術センター機械電子研究所長 石田 康弘

(1) レーザの可能性と周辺技術 10:05～10:55
愛知産業株式会社 木寺 正晃 氏

10年前と比較してレーザ技術はより繊細な制御が可能になり、価格の面ではより安価になり、これまでレーザが身近でなかった業界でも使用されるようになりました。今回はレーザの周辺技術の中から、レーザクラウド向けの最新のフィードバック制御技術と、中小企業の工場内でも任意の金属粉末が製造できる技術を中心にレーザの可能性を紹介します。

(2) 耐熱材料および高硬度材料のレーザ肉盛 11:00～12:00
(地独) 大阪産業技術研究所 山口 拓人 氏

レーザ肉盛は、従来の肉盛溶接法に比べて、精密な入熱制御が可能であり、低希釈で高品位な肉盛層の形成が可能です。本講演では、現在取り組んでいる、Ni 基新規耐熱材料や超硬合金のレーザ肉盛の研究事例について紹介します。

(3) レーザ・アークハイブリッド溶接による厚板接合技術に関する研究動向 13:00～14:00
九州大学 後藤 浩二 氏

溶接変形を大幅に抑制し、高度な工作精度を達成できる溶接法であるレーザ・アークハイブリッド溶接を厚板鋼構造物の建造に適用するための諸課題に関する研究状況について紹介します。レーザを活用した溶接継手の疲労強度改善に関する研究についても紹介予定です。

(4) レーザ加工技術（浸炭焼入れ、自動肉盛り、クリーナー）の産業応用事例 14:10～15:10
中日クラフト株式会社 毛利 陽一 氏

九州工業大学と共同開発したレーザ浸炭焼入れ加工技術、チタン素材へのレーザ窒化処理、戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）で開発に取組んだレーザ光三分割光学ヘッドを搭載した自動肉盛り溶接、昨今話題のレーザクリーナーなど、加工事例を交えて紹介します。

(5) 装置見学会・技術相談会 15:20～17:00
【装置見学会】 機械電子研究所 材料技術課 金属プロセスチーム職員
【技術相談会】

愛知産業株式会社 木寺 正晃 氏 九州大学 後藤 浩二 氏
大阪産業技術研究所 山口 拓人 氏 中日クラフト株式会社 毛利 陽一 氏
トルンプ株式会社 久保 毅 氏

（裏面もご確認ください）

■申し込み方法

「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記宛先まで FAX または E-mail でご連絡下さい。
締切は **6月30日(木)** といたします。

【申込み・お問合せ先】

福岡県工業技術センター 機械電子研究所 材料技術課 担当：小川、(島崎)

TEL：093-691-0260 FAX：093-691-0252

E-mail：ogawa@fitc.pref.fukuoka.jp

【オンライン参加について】

- ・開催前日までに、E-mail にて参加方法をご連絡いたします。
- ・Webex Meetings が使用可能な PC またはスマートデバイスをご用意ください。

宛先： 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 材料技術課

FAX 093 - 691 - 0252 小川 宛

参加申込書

令和4年 月 日

令和4年度「第1回 レーザ技術活用セミナー」(会場・オンライン)に参加します。

↑どちらかを○で囲んで下さい。

氏名 _____

会社名(所属機関) _____

所在地 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を急遽、オンラインのみ(講演のみ)にさせていただきます場合もございます。あらかじめご了承ください。

※また、お申込みの状況によっては、各社の参加人数を制限させていただきます。あらかじめご了承ください。

＜新型コロナウイルス感染症対応について

【機械電子研究所の対策】

- ・会場ではフィジカルディスタンスを確保し、換気を実施します。
- ・職員はマスクを着用し、会場出入口に手指消毒液を設置します。
- ・必要に応じて、会場のドアノブ等の消毒を実施します。

【会場参加される皆様へのお願い】

- ・ご来場時および会場内では、マスクの着用をお願いします。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・感染状況などによっては、開催を中止する場合があります。